

# ペルツズマブ+トラスツズマブ +ドセタキセル療法を 受けられる患者様へ

## 治療について

トラスツズマブ（商品名;ハーセプチン）とは、がん細胞の表面にあるたんぱく質に結合して、がん細胞の増殖を抑える薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。  
ペルツズマブ（商品名;パージェタ）も同様の働きを持つ薬で、トラスツズマブと組み合わせて使うことで効果が大きくなります。  
ドセタキセルとは、細胞分裂に重要な役割を果たす微小管の働きを抑えて、がん細胞の増殖を抑える抗がん剤です。

## 投与スケジュール

1日目に3種類の薬を投与します。  
後の20日間を休みとし、21日間を一区切り(1コース)とします。

抗がん剤  
投与  
1日目

休薬  
20日間

1コース目

抗がん剤  
投与  
1日目

休薬  
20日間

2コース目

ここに示したスケジュールは参考であり、  
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

## 点滴で投与する薬について

ペルツズマブ

初回は60分、2回目以降は  
30分かけて投与します。

生理食塩液

初回のみ経過観察のため投与します。  
60分かけて投与します。

トラスツズマブ  
( mg)

初回は90分、2回目以降は  
30分かけて投与します。

デキサメタゾン

吐き気、浮腫を予防する薬です。  
30分かけて投与します。

ドセタキセル  
( mg)

抗がん剤です。  
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。  
5分かけて投与します。



お薬を続けていくと爪がでこぼこ  
になったり、もろくなります。  
冷やすことで予防できますので、  
抗がん剤投与前からフローゼング  
ローブ・ソックスを着用します。

## 副作用について

点滴による反応  
急性嘔吐

点滴中や投与後24時間以内に、発熱や寒気などが現れる場合があります。初回に現れることが多いです。

遅発性嘔吐  
食欲不振  
便秘 倦怠感

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

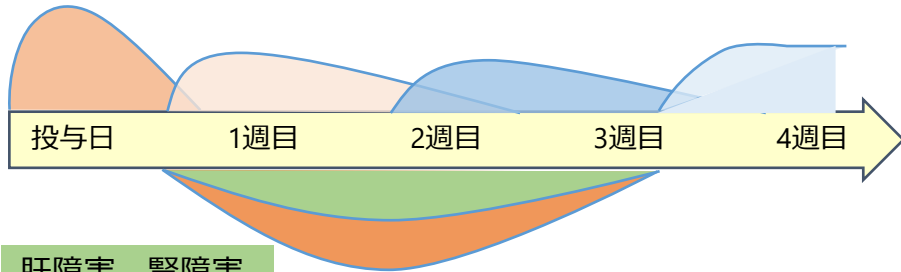
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛 浮腫  
味覚の変化  
末梢神経障害  
爪の変形

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。  
手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少  
血小板減少




感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

心機能障害

心臓に負担をかける作用があります。発現時期は定まっていません。必要に応じて心臓の検査をします。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

## 内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目
			

浮腫予防のお薬です。症状が無くても服用してください。